

2024年度 授業改善推進プラン(全体計画)

学校経営方針(学力向上に関わる要点)	
●教育目標	○自ら進んで学び学習に励む生徒 ○豊かな心をもち礼儀正しい生徒 ○心身ともにたくましく進んで実践できる生徒
●「主体的・対話的・深い学び」により自ら伸びようとする豊かな知力の育成	・基礎的・基本的学力の定着及び取組み ・「気づき・振り返り」の学習により、主体的に学ぶ力の育成 ・「学ぶ力」「学んだ力」「学ぼうとする力」を伸ばすサブリメント学習及び家庭学習への取組み ・生徒が「わかる授業」への取組み ・50分を大切に授業
	・授業の導入で「学ぶ内容・学び方」を板書し、学びへ向かう工夫をする ・授業推進「11」ポイントを生かした授業実践

授業改善の重点	
●各教科等の特性や年間時数を考慮し、生徒一人一人に身につけさせたい学力について、教科ごとに明確にした授業実践を行う。	
・授業における基礎基本の定着と、必要に応じたサブリメント講座の推進	
・家庭学習の習慣化をねらいとした「学習計画」の取組み	
・「主体的・対話的・深い学び」を通しての、協同的探究学習の推進	
・評価規準(何を)・評価規準(どのように)を明確にした適切な評価	
・自己肯定感を育てる「4つ」の授業実践	

各教科の指導の重点	総合的な学習の時間の指導の重点		特別の教科 道徳の指導の重点																			
	<table border="1"> <tr> <th>国語科</th> <th>美術科</th> </tr> <tr> <td>○意見交流をし他者の考えに触れ、意見を深める。 ○漢字練習や意味調べに取り組み、語彙を増やしていく。 ○自分の考えを表現する場面を多く設定し、自らの考えを文字で表現させる。</td> <td>○さまざまな視点から発想・構想し表現する能力を育む ○美術表現を楽しむ心を育めるよう、作品鑑賞を行う。 ○色彩感覚や立体表現などを育むことにより、将来幅広い分野で生かしていけるような知識・技能を身につけさせる。 ○ワークシートなどを活用しながら、作品制作の意図を理解し深められるような力を育む。 ○学習内容と日常生活のつながりを理解し、創造する心を育む。 ○ICT機器を活用し、作品の提示、保管を行う。</td> </tr> <tr> <th>社会科</th> <th>保健体育科</th> </tr> <tr> <td>○ICTを用いて映像画像資料を効果的に提示し、社会的現象を多面的・多角的に考察できるように授業を行う。 ○様々な社会的現象に興味・関心を持たせる発問から、現代社会の課題を見つけ、課題解決に意欲的に取り組む授業を行っていく。 ○小テストの適宜実施、ICTを活用した家庭学習などから基礎・基本的な知識の定着を図る。</td> <td>○運動の楽しさや喜びを味わい、意欲的・自主的に学習できる授業改善 ○教え合い・助け合いができるよう対話的・深い学びの工夫 ○意欲や技能を高めるウォーミングアップの工夫 ○体づくり運動の充実 ○意欲を高める教材や施設の工夫 ○主体的に取り組めるようICT機器の活用</td> </tr> <tr> <th>数学科</th> <th>技術・家庭科</th> </tr> <tr> <td>○単元末、長期休業明け等のテストの実施を継続的にし、基礎的・基本的な知識・技能「できる学力」を身につけさせていく。 ○多様な求め方を考えたり、話し合い発表したりする機会を重ね、生徒の思考力「わかる学力」を養う。 ○自己評価カードを活用し、単元や授業ごとの振り返りをする場を設け、学びの変容を積み重ね自己の成長へとつなげる。</td> <td>○日常生活や社会の中にあるアイデアや他者の考え、発想に触れることで、思考力、判断力、表現力を養う。 ○授業で学習し、身に付けた知識・技能を活用して解決できる問題を生徒自身が発見し、課題を設定する。 ○実習により自身の問題解決における思考、判断を深め、ふりかえりなどを通して表現できる場面を設定する。</td> </tr> <tr> <th>理科</th> <th>外国語科</th> </tr> <tr> <td>○実験・観察など体験的に学ばせる機会を多く設け、自然の事物・現象への関心や意欲を高める。 ○実験での観察やグループ活動を通じて、自分の考えを深め、思考力・表現力を身につけさせる。 ○観察・実験における安全確保を徹底するために、器具の準備や点検を入念に行い、生徒自身が危険を予測し、安全を確保する能力・態度を育てる。 ○振り返りの機会を適宜設け、生徒が自己の変容に気づき、科学的に探究しようとする態度や能力の成長につなげる。</td> <td>○デジタル教科書やICT機器、言語文化理解に関する資料映像等を活用し、生徒の活動の量と質を高める。 ○既習表現を用いて、自分のことや考えを表現する機会と場面を計画的、段階的に設け、パフォーマンス力の向上を目指す。 ○語彙に関するビンゴゲーム、話すこと(即興・やり取り)に関するQ&A、説明する・意見を述べる等の活動を継続して行い、コミュニケーションの素地を養う。 ○単元テストや単語テスト等を重ね、基礎基本を定着させる。</td> </tr> <tr> <th>音楽科</th> <td></td> </tr> <tr> <td>○さまざまなジャンルの音楽を鑑賞し、生涯にわたって幅広い音楽に親しめるよう知識や心を育てる。 ○音楽を形づくっている要素を理解し、それらを生かして意図をもって表現する力を育む。 ○音楽表現するための基礎的な技能を身につけさせる。 ○合唱の活動を通して、リーダーの育成をする。</td> <td></td> </tr> </table>	国語科	美術科	○意見交流をし他者の考えに触れ、意見を深める。 ○漢字練習や意味調べに取り組み、語彙を増やしていく。 ○自分の考えを表現する場面を多く設定し、自らの考えを文字で表現させる。	○さまざまな視点から発想・構想し表現する能力を育む ○美術表現を楽しむ心を育めるよう、作品鑑賞を行う。 ○色彩感覚や立体表現などを育むことにより、将来幅広い分野で生かしていけるような知識・技能を身につけさせる。 ○ワークシートなどを活用しながら、作品制作の意図を理解し深められるような力を育む。 ○学習内容と日常生活のつながりを理解し、創造する心を育む。 ○ICT機器を活用し、作品の提示、保管を行う。	社会科	保健体育科	○ICTを用いて映像画像資料を効果的に提示し、社会的現象を多面的・多角的に考察できるように授業を行う。 ○様々な社会的現象に興味・関心を持たせる発問から、現代社会の課題を見つけ、課題解決に意欲的に取り組む授業を行っていく。 ○小テストの適宜実施、ICTを活用した家庭学習などから基礎・基本的な知識の定着を図る。	○運動の楽しさや喜びを味わい、意欲的・自主的に学習できる授業改善 ○教え合い・助け合いができるよう対話的・深い学びの工夫 ○意欲や技能を高めるウォーミングアップの工夫 ○体づくり運動の充実 ○意欲を高める教材や施設の工夫 ○主体的に取り組めるようICT機器の活用	数学科	技術・家庭科	○単元末、長期休業明け等のテストの実施を継続的にし、基礎的・基本的な知識・技能「できる学力」を身につけさせていく。 ○多様な求め方を考えたり、話し合い発表したりする機会を重ね、生徒の思考力「わかる学力」を養う。 ○自己評価カードを活用し、単元や授業ごとの振り返りをする場を設け、学びの変容を積み重ね自己の成長へとつなげる。	○日常生活や社会の中にあるアイデアや他者の考え、発想に触れることで、思考力、判断力、表現力を養う。 ○授業で学習し、身に付けた知識・技能を活用して解決できる問題を生徒自身が発見し、課題を設定する。 ○実習により自身の問題解決における思考、判断を深め、ふりかえりなどを通して表現できる場面を設定する。	理科	外国語科	○実験・観察など体験的に学ばせる機会を多く設け、自然の事物・現象への関心や意欲を高める。 ○実験での観察やグループ活動を通じて、自分の考えを深め、思考力・表現力を身につけさせる。 ○観察・実験における安全確保を徹底するために、器具の準備や点検を入念に行い、生徒自身が危険を予測し、安全を確保する能力・態度を育てる。 ○振り返りの機会を適宜設け、生徒が自己の変容に気づき、科学的に探究しようとする態度や能力の成長につなげる。	○デジタル教科書やICT機器、言語文化理解に関する資料映像等を活用し、生徒の活動の量と質を高める。 ○既習表現を用いて、自分のことや考えを表現する機会と場面を計画的、段階的に設け、パフォーマンス力の向上を目指す。 ○語彙に関するビンゴゲーム、話すこと(即興・やり取り)に関するQ&A、説明する・意見を述べる等の活動を継続して行い、コミュニケーションの素地を養う。 ○単元テストや単語テスト等を重ね、基礎基本を定着させる。	音楽科		○さまざまなジャンルの音楽を鑑賞し、生涯にわたって幅広い音楽に親しめるよう知識や心を育てる。 ○音楽を形づくっている要素を理解し、それらを生かして意図をもって表現する力を育む。 ○音楽表現するための基礎的な技能を身につけさせる。 ○合唱の活動を通して、リーダーの育成をする。		<p>○SDGsについての学習の推進: これからの世界、生徒自身の将来への道標として計画的に指導する。</p> <p>○探究的な学習の推進: 調べ学習では、必要に応じてインターネットや学校図書館等の活用の仕方について指導する。</p> <p>○キャリア教育の推進: 自己の将来や職業観に関して計画的・系統的に取り組ませる。</p>
国語科	美術科																					
○意見交流をし他者の考えに触れ、意見を深める。 ○漢字練習や意味調べに取り組み、語彙を増やしていく。 ○自分の考えを表現する場面を多く設定し、自らの考えを文字で表現させる。	○さまざまな視点から発想・構想し表現する能力を育む ○美術表現を楽しむ心を育めるよう、作品鑑賞を行う。 ○色彩感覚や立体表現などを育むことにより、将来幅広い分野で生かしていけるような知識・技能を身につけさせる。 ○ワークシートなどを活用しながら、作品制作の意図を理解し深められるような力を育む。 ○学習内容と日常生活のつながりを理解し、創造する心を育む。 ○ICT機器を活用し、作品の提示、保管を行う。																					
社会科	保健体育科																					
○ICTを用いて映像画像資料を効果的に提示し、社会的現象を多面的・多角的に考察できるように授業を行う。 ○様々な社会的現象に興味・関心を持たせる発問から、現代社会の課題を見つけ、課題解決に意欲的に取り組む授業を行っていく。 ○小テストの適宜実施、ICTを活用した家庭学習などから基礎・基本的な知識の定着を図る。	○運動の楽しさや喜びを味わい、意欲的・自主的に学習できる授業改善 ○教え合い・助け合いができるよう対話的・深い学びの工夫 ○意欲や技能を高めるウォーミングアップの工夫 ○体づくり運動の充実 ○意欲を高める教材や施設の工夫 ○主体的に取り組めるようICT機器の活用																					
数学科	技術・家庭科																					
○単元末、長期休業明け等のテストの実施を継続的にし、基礎的・基本的な知識・技能「できる学力」を身につけさせていく。 ○多様な求め方を考えたり、話し合い発表したりする機会を重ね、生徒の思考力「わかる学力」を養う。 ○自己評価カードを活用し、単元や授業ごとの振り返りをする場を設け、学びの変容を積み重ね自己の成長へとつなげる。	○日常生活や社会の中にあるアイデアや他者の考え、発想に触れることで、思考力、判断力、表現力を養う。 ○授業で学習し、身に付けた知識・技能を活用して解決できる問題を生徒自身が発見し、課題を設定する。 ○実習により自身の問題解決における思考、判断を深め、ふりかえりなどを通して表現できる場面を設定する。																					
理科	外国語科																					
○実験・観察など体験的に学ばせる機会を多く設け、自然の事物・現象への関心や意欲を高める。 ○実験での観察やグループ活動を通じて、自分の考えを深め、思考力・表現力を身につけさせる。 ○観察・実験における安全確保を徹底するために、器具の準備や点検を入念に行い、生徒自身が危険を予測し、安全を確保する能力・態度を育てる。 ○振り返りの機会を適宜設け、生徒が自己の変容に気づき、科学的に探究しようとする態度や能力の成長につなげる。	○デジタル教科書やICT機器、言語文化理解に関する資料映像等を活用し、生徒の活動の量と質を高める。 ○既習表現を用いて、自分のことや考えを表現する機会と場面を計画的、段階的に設け、パフォーマンス力の向上を目指す。 ○語彙に関するビンゴゲーム、話すこと(即興・やり取り)に関するQ&A、説明する・意見を述べる等の活動を継続して行い、コミュニケーションの素地を養う。 ○単元テストや単語テスト等を重ね、基礎基本を定着させる。																					
音楽科																						
○さまざまなジャンルの音楽を鑑賞し、生涯にわたって幅広い音楽に親しめるよう知識や心を育てる。 ○音楽を形づくっている要素を理解し、それらを生かして意図をもって表現する力を育む。 ○音楽表現するための基礎的な技能を身につけさせる。 ○合唱の活動を通して、リーダーの育成をする。																						
	特別活動の指導の重点																					
	<p>○よりよい集団作りの推進。学校行事、学年行事などへの取り組みを通して、集団としての向上と参加する態度の育成に取り組む。</p> <p>○協同的な活動の充実。学級内での話し合い活動を深め、お互いの考え方を尊重し、協同的な活動を充実させる。</p>																					

本校の授業改善に向けて	ICT機器の活用	認め合う・学び合う集団の形成	発問の工夫
	各教室に設置してあるプロジェクターなどを積極的に活用し、さらなる授業力の向上に努めている。Googleアカウントを生徒1人ひとりに配布し、Chromebookや自宅でも学習できるように努めている。	教室内の掲示物を整えるなど、学習環境を整備し、落ち着いた授業に臨めるようにしている。生徒同士が受容・称賛・励ましの言葉かけを互いに声掛けできる場面を意図的に設定している。	本時の目標を達成するための発問をし、生徒にとって何を学習したのかわかりやすい授業を行っている。また、より知的好奇心をかき立てる発問となるよう職員研修等を通し工夫に努めている。